

平成30年(2018年)11月13日

保護者の皆様

札幌市立中の島小学校

校長 佐藤 正行

全国学力・学習状況調査の結果について

向寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より本校の教育活動に対しまして、ご支援とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、6年生を対象に4月に実施しました「全国学力・学習状況調査」について本校の調査結果がまとまりましたので、お知らせいたします。本校ホームページにも、調査結果を掲載しております。[\(http://www.nakanoshima-e.sapporo-c.ed.jp/\)](http://www.nakanoshima-e.sapporo-c.ed.jp/)

この調査結果をもとに学校としての指導方法の改善を図り、子どもたちの学力向上を図っております。

調査結果についてご不明な点がございましたら、担当福岡(TEL:841-1561)までご連絡をお願いいたします。

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向性

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題 (A)

□「話すこと・聞くこと」

・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

□「書くこと」

・全国平均に比べ、下回っている。

□「読むこと」

・全国平均に比べ、下回っている。

□「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

・全国平均に比べ、下回っている。

主として「活用」に関する問題 (B)

□「話すこと・聞くこと」

・全国平均に比べ、下回っている。

□「書くこと」

・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

□「読むこと」

・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

●相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す。

●自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える。

●目的に応じて必要な情報を捉える。

●相手や場面に応じて適切に敬語を使う。

●学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。

●話し合いの参加者として、質問の意図を捉える。

●目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く。

●目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む。

○相手の理解の状況を確認しながら言葉を置き換え、内容や順序を考え、説明の仕方を工夫する学習の充実。

○現在と過去を行き来して書いたり、出来事に変化を加えながら書いたりするなどの物語の構成の工夫や効果を捉えて書く指導の充実。

○何のために調べるのかという目的を明確にし、何について調べるのかを具体的にしながら取り組む学習の充実。

○地域の人たちと触れ合う機会を設定し、相手と自分との関係を意識しながら敬語を使う場面を設定する。

○同じ音や同じ部分をもつ漢字との違いや文脈の中での使い分けに着目する学習の充実。

○話し合いの観点に沿って振り返り、話し合いの中での司会者や提案者、参加者など、それぞれの役割のポイントを明らかにする指導の充実。

○事例を挙げて具体的に説明するなど、内容の中心を明確にして書く指導の充実。

○「何のために何を知りたいのか」「どんな情報が知りたいのか」という目的を明確にし、全体の構成を把握しながら読む指導の充実。

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向性

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題 (A)

□「数と計算」

・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

□「量と測定」

・全国平均に比べ、下回っている。

□「図形」

・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

□「数量関係」

・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

主として「活用」に関する問題 (B)

□「数と計算」

・全国平均に比べ、下回っている。

□「量と測定」

・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

□「図形」

・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

□「数量関係」

・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

- 1に当たる大きさを求める問題では、除数が小数である場合でも除法を用いることを理解している。
- 異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している。
- 直径の長さと同周の長さの関係について理解している。
- 折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることができる。

- 示された考えを解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を、表現方法を適用して記述できる。
- 折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述できる。
- 図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの和が 360° になっていることを記述できる。
- 示された考えを解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し、分配法則の式に表現することができる。

○数量の関係を図や数直線に表す活動を位置付けた計算の意味理解を基に演算を決定する指導の充実。

○どちらか一方の量がそろっていれば、もう一方の量の大小で混み具合を比べることができることを捉えることのできる指導の充実。

○「角の大きさの見当をつける」「角の大きさを測定する」「角の測定の結果を振り返って確かめる」を関連付けた活動を行う。

○グラフの部分的変化だけではなく、グラフ全体の変化の特徴に着目して考える指導の充実。

○数量関係を帰納的に考え、見出した数量の関係を、式を用いて表現する指導の充実。

○複数の情報を関連付けて論理的に考える活動を行い、用いた数の意味や式の意味など、自分の根拠を明確にしながら説明する指導の充実。

○「角の大きさの見当をつける」「角の大きさを測定する」「角の測定の結果を振り返って確かめる」を関連付けた活動を行う。

○グラフの部分的変化だけではなく、グラフ全体の変化の特徴に着目して考える指導の充実。

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方向性

【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題 (A)

□「自然事象への関心・意欲・態度」

・全国平均に比べ、下回っている。

□「科学的な思考・表現」

・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

□「観察・実験の技能」

・全国平均に比べ、上回っている。

□「自然事象についての知識・理解」

・全国平均に比べ、下回っている。

●安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想できる。

●人の腕が曲がる仕組みを模型に適應できる。

●より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述できる。

●実験結果から電流の流れ方について、より妥当な考えに改善できる。

●骨と骨とのつなぎ目について科学的な言葉や概念を理解している。

●堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している。

○生物に直接関わる実際の観察場面を保障し、安全への配慮や生物への影響について考える場面を設定した学習の充実。

○学習を通して獲得した知識を実際の自然や日常生活の場面に適應して考えることのできる指導の充実。

○実験結果の予想を話し合う場を設定したり、実験後に自分の予想と実験結果とを比べたりする指導の充実。

○言葉の意味を的確に捉えることができるように、実際の自然の事物・現象を説明する指導の充実。

学習状況調査結果

学校や家庭での「学習」や「生活」の様子について

生活面の質問事項から

- 「放課後に何をして過ごすことが多いですか」の質問で、家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしていると答えた子の割合が全国平均より高い。
- 「週末に何をして過ごすことが多いですか」の質問で、家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしていると答えた子の割合が全国平均より高い。
- 「週末に何をして過ごすことが多いですか」の質問で、地域の活動に参加していると答えた子の割合が全国平均より高い。
- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と答えた子の割合が全国平均より低い。
- 「学校のきまりを守っている」と答えた子の割合が全国平均より低い。
- 「家で、学校の宿題をしている」と答えた子の割合が全国平均より低い。
- 「週末に何をして過ごすことが多いですか」の質問で、スポーツをしていると答えた子の割合が全国平均より低い。
- 「人の役に立つ人間になりたいと思う」と答えた子の割合が全国平均より低い。
- 「今住んでいる地域の行事に参加している」と答えた子の割合が全国平均より低い。
- 「地域社会などでボランティア活動に参加したことがある」と答えた子の割合が全国平均より低い。

学習面の質問事項から

- 「理科の勉強は好きです」と答えた子の割合が全国平均より高い。
- 「理科の授業の内容はよく分かります」と答えた子の割合が全国平均より高い。
- 「観察や実験を行うことは好きです」と答えた子の割合が全国平均より高い。
- 「5年生のとき、理科の授業がおもしろいと思った」と答えた子の割合が全国平均より高い。
- 「国語Bの調査問題の解答時間は十分でしたか」の質問で、時間が余ったと答えた子の割合が全国平均より高い。
- 「算数Bの調査問題の解答時間は十分でしたか」の質問で、時間が余ったと答えた子の割合が全国平均より高い。
- 「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」と答えた子の割合が全国平均より低い。
- 「今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」の質問で、最後まで回答を書こうとしたと答えた子の割合が全国平均より低い。
- 「理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と答えた子の割合が全国平均より低い。
- 「理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか」の質問で、週1回以上観察や実験を行ったと答えた子の割合が全国平均より低い。
- 「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思う」と答えた子の割合が全国平均より低い。